

第9回フェリス女学院大学

日本文学国際会議

日本神話をひらく

「古事記」編纂一三〇〇年に寄せて

古代王権の歴史を語る『古事記』『日本書紀』はなぜ神話を必要としたのか。神話という起源を抜きには歴史が語れなかった古代という時代に編纂された『古事記』から一三〇〇年を経た今、古代人にとっての神話への志向と神話的思考、そしてそれらが紡ぎ出した文学を改めて問う。



会期●二〇一二年 11月23日(金・祝) 24日(土) 入場無料
会場●フェリス女学院大学 緑園キャンパス・8号館グリーンホール

主催



フェリス女学院大学

後援 古代文学会

神奈川県横浜市泉区緑園 4-5-3 日本文学国際会議事務局
TEL:045-812-9129 FAX:045-812-9613
横浜駅より相鉄いずみ野線「緑園都市」(快速17分)駅下車徒歩3分
<http://www.ferris.ac.jp>

日本神話をひらく

「古事記」編纂一三〇〇年に寄せて

第1日

11月 23日(金・祝) 日本神話の諸相

午前
個別発表

- 10:00 開場
- 10:45 ~ 11:00 開会挨拶
- 11:00 ~ 12:10 三浦 佑之 (立正大学教授)
古事記神話と解体する一つの日本

午後
個別発表

- 13:10 ~ 14:20 エルマコワ・リュドミーラ (神戸市外国語大学名誉教授)
「古事記」における創世神話のレフレックスを巡って
- 14:20 ~ 15:30 エドウィナ・パーマー (ヴィクトリア大学准教授)
『播磨国風土記』中川里の項にあらわれる超自然の剣の話
—神話か歴史か、あるいは歴史の神話化か—
- 15:30 ~ 15:40 休憩
- 15:40 ~ 16:50 松田 浩 (フェリス女学院大学准教授)
県守の虬殺しをめぐる
—『日本書紀』仁徳紀の歴史叙述の方法—
- 16:50 ~ 17:00 休憩
- 17:00 ~ 18:00 総括 日本神話の諸相

第2日

11月 24日(土) 『古事記』の神話世界

午前
個別発表

- 9:00 開場
- 9:50 ~ 11:00 太田 真理 (フェリス女学院大学非常勤講師)
引田部赤猪子伝承小考
- 11:00 ~ 12:10 アンダソヴァ・マラル (佛教大学研究員)
古事記神代における高天原の「変貌」

午後
個別発表

- 13:10 ~ 14:20 エミリア・シャロンドン
(元四国大学講師・現徳島県小学校 ALT)
イザナギ・スサノヲの罪や穢れ；イザナミ・アマテラス
の違反への抵抗：『古事記』の魅力を探る
- 14:20 ~ 15:30 猪股 ときわ (首都大学東京教授)
草木と人と —『古事記』の神話的思考—
- 15:30 ~ 15:40 休憩
- 15:40 ~ 16:50 谷口 雅博 (國學院大學准教授)
『古事記』上巻スサノヲ系譜記載の意義
- 16:50 ~ 17:10 休憩
- 17:10 ~ 18:00 総括 『古事記』の神話世界
- 18:00 ~ 閉会挨拶

